

ヒグマ有害性判断

有害性段階	ヒグマの行動等
段階0 (非問題個体)	■人間を恐れて避ける ■痕跡のみで目撃されていない
段階1 (問題個体)	■人間を見ても逃げない ■人前にたびたび姿を見せる
段階2 (問題個体)	■生ごみ・廃棄物等につく ■農作物・家畜等を食害、破損した
段階3 (問題個体)	■人間を攻撃した ■人間に積極的につきまとう
緊急対応型 問題個体	■市街地、集落に出没し、直ちに出没による重大な被害又はその恐れがある

※出没したヒグマの有害性判断については、出没したヒグマの大きさや性別、どのような行動をとるかといった出没状況に応じてその都度判断されます。